

# 千葉あいご

二〇一七年十三月号

## 千葉県福祉協会人材確保特別委員会

11月23日 就職説明会開催

11月23日（木・祝）「千葉県知的障害者福祉協会」主催による就職相談会がホテルグリーンタワー幕張で開催されました。

「千葉県知的障害者福祉協会」は、知的障害の福祉向上に寄与することを目的に昭和38年に発足以来千葉県内303の福祉施設が加盟するほどに成長、各部会に分かれ構成され支援事業・知的障害者事業に取り組み、委員会活動にも部会からの選任された方々で構成されています。医療や福祉現場での扱い手不足が深刻の中、協会内に「人材確保特別委員会」が今年の8月設置されました。以前政策委員会の中で就職相談会が開催された経緯があります。政策委員の立場でありますと専念出来る範囲が狭まるため、今回の特別委員の設置となりました。

委員会設立には、推薦を頂き就任したものの組織も部会活動も入会したての私共としては、不安なお引き受けでしたが協会全体の課題は、福祉全体の課題すなわち私共の施設も同じ責任を担う立場です。協会の発展は、私共法人の発展にもつながる一心です。初回の開催は、委員

出席は2名。厳しい船出でしたが役員会のご協力、政策委員会の全面協力、委員の選任においては、支援スタッフ部会の協力をいただき10名の委員会が結成されました。早々の委員会に関しては、前年度の開催内容・費用・担当割等やることは、政策委員会の権限委員長はじめ委員の皆様からの協力・引き継ぎでできたのですが問題は集客です。大学約30校・短大10校その他専門学校・高等学校・一般中途等へのインフォー、千葉県全域へどう営業していくかです。政策・人材の委員で手分けをして行いました。

労働局の協力もいただき千葉県全域のハローワークへ伝えることも出来ました。

どれだけの相談者が来られるかは、予想できませんでした。結果は、9名と惨敗です。障害施設への就職希望者が少ない現実は、わかつていたもののたいへん残念な結果で終了したこと

に委員を代表してお詫び申し上げます。

福祉現場で働く職員の喜びが就職活動を行う学生たちや一般の方々にまで届いていない現状

は、今後も重要課題です。

当日解散後、ブース設置法人の代表者様より

丁重なるメールを頂きました。「当法人ブースにもお一人がお越しくださいました。心を込めて対応させていただきました。10名であろうが、お一人であろうが私共にとつてはかけがえのない人財です。心を込めて対応させていただきました。……」前後は、労いの言葉でした。恐縮です。人財の重さ、各法人現場で働く職員の大

事な人財等の認識を考える一日でもあったのではないかでしょうか。

各施設が自分たちの取り組みに胸を張って積極的に情報公開を行う必要があると思います。イベントを通して福祉現場の魅力を発信継続していくことが重要と考えます。来年は、3月11日を予定しています。今回の反省を生かし、東日本震災の日ではありますが千葉県知的障害者福祉協会の人材確保の為の良き激震を期待してやみません。委員の力だけでは、集客は期待できません。福祉施設からの魅力・施設現場から作り出される様々な商品を通じて、見て・食べて・話して、障害者福祉に触れられるイベント内容にし、皆さんの宣伝協力で呼び込もうじゃありませんか。

宜しくお願ひ致します。

人材確保特別委員会 中村輝彦

**第67号（2017年12月号）**

発行日 平成二十九（2017）年十二月二十日

発行者 里見吉英

編集者 畠山正昭・菅谷大輔・秋山直樹

発行所 千葉県知的障害者福祉協会

（本部）千葉市中央区中央四一四一—一〇 友美ビル三一三B

Tel ○四三（二三四）五七二一

HP <http://www.chibachiteki.com/>

（事務局）船橋市金堀町四九九一 大久保学園内

Tel ○四七（四五七）二四六一

## 目次

- 千葉県福祉協会人材確保特別委員会11月23日就職説明会開催
- 2017年度関東地区知的障害関係職員研究大会(千葉大会)
- 9月6日開催新任職員(転職研修)
- 千葉県福祉協会職員交流野球・ゴルフ・バーボール大会
- 千葉県福祉協会職員交流野球・ゴルフ・バーボール大会
- 支援スタッフ部会活動報告
- 新事業所紹介
- わが施設の自慢アピールポイント
- 第44回手をつなぐスポーツの集い
- 千葉知協トピックス
- 手をつなぐ作品展日程
- 事務局だより・編集後記

# 2017年度 関東地区知的障害関係職員研究大会(千葉大会)開催

●日時／平成29年7月13日～14日 ●会場／アパホテル&リゾート(東京ベイ幕張)



2017年度  
関東地区知的障  
害関係職員研究  
大会(千葉大  
会)

が平成29年  
7月13日～14日  
の2日間にわたりアパホテル&  
リゾート(東京ベイ幕張)で開催されました。

今回の大会テーマは「ハート&ハート」、何の法的根拠のなかつた時代に立ち上がった先達たちは「心」一つを頼りに社会福祉の礎を築いてこられた。私たち社会福祉の歴史の中でこの「心」を受け取り、次の世代にも伝えていかなければならぬはずであり、そしてまた「心」は私たちだけのものではなく、支援を受けるすべての人たちの持つ大切な宝でもあります。過去から未来へ。

私たちと支援を受ける大切な一人ひとりとの「心と心」をテーマといたしました。

関東地区知的障害福祉関係職員、利用者、家族等が一堂に会し、直面する諸問題について研究、討議し、これを実践として活かすことにより知的障害者の福祉の向上に寄与することを目的に918名と多くの参加を迎えて開催されました。1日目は8つの分科会が行われ、それぞれのテーマで議論がなされました。

〈基調講演・野沢和弘氏〉



毎日新聞論説委員  
野沢和弘氏

2日目は、毎日新聞論説委員の野沢和弘氏を講師に迎えての基調講演として、「これからのお客様からお話を聞くこと」とお客様からの質問には「わかりません」とは言わないことを徹底しているとのことでした。

講演がありました。

社会保障とは国民の生活に一番重要な課題で、直面しているのは2025年問題で団塊の世代が75歳以上になる年であり、医療や介護が必要になること、国民の3人に1人が65歳以上の世界の先頭を切って超高齢化社会を迎え、医療介護の費用がとても多くかかると約253万人必要になるとされていますが、それに対しても見込が約213人と約40万人が不足するところでした。また2025年には介護職員が約253万人必要になるとされていましたが、それを解消するには、AI(人工知能)ロボットの生産性の向上か、あるいは海外からの労働者などで確保するしかなく、現在新しい保育所や高齢者施設を造つても人手が足りなくて一部閉鎖しているところがある現状もあり、財源のことよりも人材の確保が一番大変なことであるとのことでした。

〈記念講演・安孫子薰氏〉

記念講演では東京ディズニーランド創業時か



株チャックスファミリー  
代表取締役  
安孫子 薫氏

おもてなしの仕組み」の講演がありました。東京ディズニーランドは1日平均8万人の来場者があり、キャスト(従業員)は2万人おり、そのうち約8割がアルバイトで主に学生であります。ディズニーでは世界観を大切にしており、キャストは「夢を壊さないこと」とお客様からのお客様からのお話には「わかりません」とは言わないことを徹底しているとのことでした。

野沢氏には今後の福祉の動向について、安孫子氏には「おもてなし」や人材育成などについてアドバイスをいただきました。最後に各関係者の皆様のご協力により今大会が無事盛会に開催できたことを御礼いたしまして、ご報告とさせていただきます。

広報委員会 中里の家 畠山正昭

# 9月6日開催・新任職員（転職）研修に参加して

## 支援者としての基本を学ぶ

私自身は以前2年程介護の仕事に携わったのですが、今回初めて障害を持つ方に接する仕事を経験させていただいております。今回の研修では転職してから初めてのことばかりの日々であつた私に、支援者としての基本を学ばせていただけた素晴らしい機会になりました。

千葉明徳短期大学の加藤教授の講演『利用者目線に立つこと』は「障害」という言葉を改めて考えさせられる内容でした。「障害」とは誰にとっての障害なのか？耳に「障る」、目に「障る」、気に入「障る」のは果たして利用者さんなのか？この問いかけには目からうろこが落ちる思いでした。

「障害」というカテゴリーで縛っているのは私たちであり、その縛りつけで負の感情を抱いている利用者さんは、同じ目線で立ち、気持ちと言葉を注ぐことで利用者さんの感情が出会う場所であり、その場所で私たちは同じ目線で立ち、気持ちと言葉を注ぐことで利用者さんの感情の家計簿を赤字から黒字に変えていくけるような支援が大切ということを学ばせていただきました。また、自分がこれまでの人生体験で得た「感情経験」を経験だけで終わらせることがなく、経験を高めることで「経験知（今回の講演で学ばせていただいた言葉です）」にし、利用者さんの感情の整理のお手伝いができる支援に繋げていきたいと思いました。

千葉市視覚障害者協会副理事長の高梨先生の講演『福祉施設職員を目指すものへ』では自身の体験を交えながらのお話があり、そのお話は大変興味深いものばかりでした。求められる施設とはどのようなものかという部分では、「施



千葉明徳短期大学  
専任教授 加藤次郎氏

設とは利用者さんの一生を左右する場所であることを深く認識でき、我々支援者は人間の尊厳が重んじられ、人の生活の場に相応しいようなサービスを提供しなければならないことを改めて理解することができました。

この研修を終え、千葉県知的障害者福祉協会への理解も深めることができ、今後は「親亡き後に我が子を託せる」と、御家族に思っていただけの施設職員を目指し、実践していきたいと思います。貴重なお時間をいただきありがとうございました。

社会福祉法人 清郷会 協和厚生園 荒金 麻美

## 施設職員が目指すべき姿

平成29年9月6日にホテルポートプラザちばにて開催された転職者を対象とした新任職員研修会に参加させて頂きました。

この春まで10年以上勤めた小売業という畠違いの企業からの転職ということもあり、私にとつては、全く未知の世界での勤務は新鮮で楽しくもありますが、利用者さんや保護者の方々との関わりに於いて、何を最も重視し優先すべき事であるのかが分からず、私なりに摸索しながら取り組んできました。

幸いにも、私が勤務している入所施設は、利用者さんの入所から30年以上に渡って共に過ごし続けてきた先輩職員の方や、福祉業界で長年

勤めてこられた方々からの話しを聞くことも出来、また、若い職員の方たちも、利用者さんと一緒に楽しむ事に喜びを感じて毎日を過ごされているという環境にあります。利用者さんも職員も笑顔が多く見られる職場だと感じる施設であります。私の不明点や疑問点にも、多くの方たちから助言を頂きながら、日進月歩ではあります。自らの支援員としての成長も感じられます。

そんな中で今回、この研修の高梨憲司氏の講話で「利用者さんの親亡き後に、親が利用者さんを託せる施設・職員になれるか」というお話をがありました。この言葉に、利用者さんの幸福感に対して、最も心を碎いているのは他ならぬ利用者さんの保護者や家族の方たちであり、その方たちが安心して我が子や家族を任せられる職員や施設に出会える事が、どれだけ重要で、また困難なことか。むしろ、私たち施設職員が目指すべき姿がそこであるということに改めて気づき、この仕事の難しさとやりがいを痛感致しました。これを実現するには一朝一夕では到底、適うべきものではありませんが、日々の支援のなかで、利用者さんと同じ高さの目線を持ち、利用者さんの自らの意思決定を尊重できるような関係性を構築し続けていくこと、利用者さんと笑顔のキヤッチボールを創り出していくことが重要であり、忘れてはならない施設職員の根幹の部分であるという事を学ばせて頂きました。

今回の研修で、利用者さんの生活・人生に寄り添つて支援していくには、幼児期・学童期からの連なった支援が大切なのではないかという思いも生まれました。また、将来は、児童から高齢まで総合的に利用者さんに関わつていただけるような職員になるという目標も得る事ができました。これを糧に日々精進していきたいと思います。

# 千葉県福祉協会職員交流野球・ゴルフ・バレー ボール大会

## 第2回施設職員交流野球大会

前年度より開催された職員交流野球大会においては、今年度からはより本格的にと言う事で

審判を成田市野球協会へ依頼し、予選から球場も成田市中台球場にて実施させていただきました。これは来年平成30年に全国社会福祉軟式野

球大会が千葉県で開催する事となり、その全国大会の運営を千葉県知的障害者福祉協会で担当する事となりました。したがってシミュレーションの意味でも今回はより本格的に野球大会を実施する事としました。

今年度の出場は11チームからエントリーがあり、予選を8月4・8・10日の3日間で実施し、決勝を9月21日に行いました。来年度も多くの事業所の参加をお待ちしております。

### 見事に優勝!!（佑啓会Aチーム）

予選から圧倒的な強さ！今年度より新戦力が加わりチームの選手層が厚くなり、隙のないチームとなりました。特に投手陣が充実した感があり、決勝では

3ブロックの勝ち上がりチームの総当たり戦としましたが、前年度優勝のみづき会を相手に18対0、小池更生園には21対4と相手チームを全く寄せ付けない試合でした。とにかく強かつた！お見事の一言です!!

## 第16回施設職員交流ゴルフ大会

### 第16回施設職員交流ゴルフ大会

第16回職員交流ゴルフ大会を8月23日小見川東急ゴルフクラブにて91名の参加で行ないました。昨年は野球大会同様に天候に恵まれず、このゴルフ大会も8月から延期となり12月の開催となつてしましました。今年もとにかく天候だけが心配でしたが、これも野球大会同様に無事に開催できた事に皆さんに感謝・感謝です！

優勝	大成会	斎藤 由美子
準優勝	佑啓会	山中 浩
3位	佑啓会	本郷 宏治
ベスグロ	富里福葉苑	岩館 祐治
	大成会	斎藤 由美子

優勝	みづほ学園	ふる里学舎
準優勝	ふる里学舎	北総育成園
敢闘チーム賞	北総育成園	九曜会
県大会出場16チーム	東葛地区・大久保学園・ふる里学舎松香園	千葉地区・ふる里学舎・中野学園・九曜会・清輝会
	北総地区・八日市場学園・北総育成園・野菜福祉会	成田地区・菜の花会・十倉厚生園・大成会
	県南地区・みづほ学園・安房広域福祉会・みづき会	・ふる里学舎和田浦

見事1年で返り咲き！優勝!!（みづほ学園チーム）



佑啓会Aチーム・力投のピッチャー

平成29年11月14日千葉ポートアリーナにおいて施設職員交流バレー ボール県大会が開催されました。今年も各ブロック代表は16チームですが、その内5チームが昨年と違うチームとなり、予選会から激戦が繰り広げられたと思われます！

福利厚生委員会 委員長  
上総喜望の郷 中村 敏久



優勝チーム・みづほ学園

## 支援スタッフ部会活動報告

### 第2回代表者会議及び学習会について

千葉県知的障害者福祉協会支援スタッフ部会による支援スタッフ部会 第2回代表者会議及び学習会が11月17日に開催されました。代表者会議においては、鶴岡部会長からの挨拶と支援スタッフ部会上半期活動報告、各ブロック長よりブロック上半期活動報告と各機能別委員会より委員会上半期活動報告が行われました。

代表者会議後に行われた学習会においては「利用者の高齢化と対応について」「意思決定支援について（作業参加への促し等）」「人材育成と職場環境改善について」という3つのテーマに分かれグループ討議を行いました。前記のテーマについては9月に行われた第1回学習会にて参加者より多くの意見が出た内容を取り上げ、さらに深くまで意見交換をして頂くという狙いがありました。

参加者がそれぞれ意見交換をしたいテーマを選択し、グループ討議に臨みました。また複数のテーマでの意見交換をしたいという参加者もいるため、グループ討議の時間を前半と後半に分け、グループを移動することでより多くの意見交換をして頂くという狙いもありました。

「利用者の高齢化と対応について」というテーマでは、利用者の高齢化に伴い、施設での対応が難しくなっていることは何かという情報交換を行いました。今まで作業や活動に参加されていた利用者が年齢と共に参加することが難しかなつてきたり、介助が必要な利用者が増えてきているという現状や職員配置に限りがあり、全



てを介助できていないという現状があるとの意見が出ていました。また、身体機能が低下したことにより、階段や段差、風呂場やトイレ等、施設内の環境が利用者に合わなくなつてきている為、全面的に改修が必要となつていているのではないかといつた意見が出ました。高齢利用者が多く利用している施設は全体的な改修等も必要となるが、同施設内で年齢差がある際の対応はどうするかといつた課題も出ていました。

「意思決定支援について」というテーマでは各グループで意思決定支援とは何か?という意見でグループ討議を開始していました。私たちも突然「何がしたい?」「何が食べたい?」と質問をされると答えられないと答える場合がある。そういった経験がある中で利用者に対し、どういった選択の機会が提供できるのだろうか、自身の支援者としての知識向上や経験を重ねることで、選択肢の少なさ、人員不足による選択肢に限度がある等といつた意見が挙げられていました。

「人材育成と職場環境改善について」というテーマにおいては、新任職員に対しての指導方法やメンタルケア、また現在所属している事業所の労働環境について意見交換がされていました。多くの事業所にてメンター制度を導入している中、入所施設等の勤務である場合、顔を合わせて話す機会が少ないという意見や中途採用職員に対しての指導方法が難しいという課題があるという意見も出ていました。職場環境においてはヒヤリハットや連絡事項の引き継ぎ方法、人員確保や勤務体制についての意見交換がされていました。

今回の学習会にて自身の事業所と他事業所との取り組みや考え方にもそれぞれの事業所の理念や基本方針が大きく関わっており、支援員一人一人がよく考え、またチームとして課題解決の為に取り組んでいることが理解できました。また、自身の事業所での支援がさらにより良い方向に向かうように他事業所との意見や情報交換が必要となる為、このような機会を大切にしたいと思います。

理解する必要

## 新事業所紹介

社会福祉法人星の会

# 共同生活援助すばる

## 終の棲家 地域で生きる



ワーク & サポート すばる



まるで兄弟のように過ごす

社会福祉法人星の会は、平成28年に社会福祉法人として認可されました。社会福祉法人としてはまだ誕生したばかりですが、平成3年に「生活ホーム」を立ち上げ、平成14年に特定非営利活動法人の認可を受け、「共同生活援助」と「多機能事業所（生活介護・B型）」事業を行ってきました。主な拠点は、千葉市花見川区になり、花見川区に一軒家が三棟、アパートを借りてルームシェアが2か所、サテライト1か所に八街市に一棟あります。

## 清潔感のある快適な生活空間

# ふる里学舎藏波

社会福祉法人佑啓会

施設長 劍持公美



ふる里学舎藏波の表示



ふる里学舎藏波・外観

を工夫するなど、清潔感のある快適な生活空間を提供できるよう努めています。

物に行けば、知り合いに会い一言二言お話をされていて、職員が知らないことなど沢山情報を持つていて、「へ」と驚かされることが多々あります。逆に職員のことも話しているんだろうと…。まだまだ偏見もあると思いますが、皆さんがこれからも地域の中で安心して生活できるよう環境をしっかりと作つていかなくてはと思つております。また、法人の事業として生活介護事業と就労継続支援B型の多機能型事業所でお弁当作り・各ご家庭への配達や商店街に店舗を構え各グループの商品を販売しております。

今後、地域に根差し、利用者さんが笑顔で日々過ごせるように今以上に努力してまいります。

定員は30名で『終の棲家』を方針として運営しております。現在、利用されている方の多くは50歳以上と高齢化してきていますが、皆さん昔から縁もあり、まるで兄弟のように過ごされています。地域の方とも顔見知りが多く、ちょっと買います。

ふる里学舎藏波は、千葉県社会福祉事業団が運営していた障害者支援施設「アドバンスながうら」と、放課後等デイサービス事業所「虹の子」の機能引継ぎを受け平成28年4月に開所しました。定員は施設入所支援・生活介護80名、就労移行12名、就労継続支援B型28名、放課後等デイサービス10名、短期入所12名となっています。

機能引継ぎを受けた昨年度は、利用者やご家族、相談支援事業所・行政・後見人等の関係機関との信頼関係の構築、住環境、生活環境の整備に努めました。特に生活環境の整備について、寮内外の環境整備に力を注ぎ、外壁の塗装、中庭の芝張り、居室やデイルームのインテリア

工房におけるパンの製造、その他受注作業などに取り組んでおります。

有機低農薬の野菜や国産の小麦を使用した焼きたてのパンなどを地域向けに販売し、好評をいただいているので、お近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

機能引継ぎを受けた昨年度は、利用者やご家族、相談支援事業所・行政・後見人等の関係機関との信頼関係の構築、住環境、生活環境の整備に努めました。特に生活環境の整備について、寮内外の環境整備に力を注ぎ、外壁の塗装、中庭の芝張り、居室やデイルームのインテリア

施設長 松橋達也

支援スタッフ  
から見た!

# わが施設の自慢・アピールポイント②

平成20年度から24回にわたり69の“チチ自慢”をご紹介してきましたこのコーナー。今回は2つの“チチ自慢”です!

## 千葉ブロック いずみの家

### 喜びを実感してほしい!

いずみの家は知的障害をお持ちの方の「働く」を支援する、幕張メッセから車で10分程の場所にある施設で、就労移行・就労継続B型・日中一時の各支援サービス（総定員43名）を提供しています。

ご利用者の皆様は、全般的に相手を思いやる気持ちを持った方が多く、仕事についてはプライドを持って意欲的に取り組まれています。職員は、ご利用者の皆様に「働く」を通して仕事面・生活面に関するスキルを身に付けてもらえるよう、将来の生活に向けた支援を目指しています。ご利用者の「なりたい・やりたい」ニーズを汲み取り、実現するためにはどうすべきか、課題をとことん

話し合っていることは、チチ自慢の一つです。いずみの家の基本理念である「ご利用者の主体性を大切に、社会の一員として働く喜びと機会を提供し、地域で安心した生活が送れるように社会参加の機会を設けていく」ことで、今後も地域生活の支援に力を注いでいきます。  
所長補佐 鈴吉純司



作業風景



いずみの家

## 東葛南ブロック きらりあ

### きらりあと言えば『持ち帰らんドリー』!

浦安市障がい者福祉センターきらりあは生活介護、就労継続支援B型、特定相談支援の3事業を行なう多機能型事業所です。近隣には静かな住宅街と世界的に有名なテーマパーク、そして大きな鉄鋼団地があり、各事業所ではこれら地域資源に関わりある仕事に多く携わっています。

クリーニング事業はそんなきらりあの特徴の一つです。業務用の大型洗濯機と乾燥機が各3台、手仕上げ用の蒸気アイロンが6台もある広いスペースでは日々利用者さんがいきいきと作業に勤めています。5年前からは『持ち帰らんドリー』事業を展開しています。これは契約工場で使用した作業着等を回収、クリーニング後にまた作業現場まで配達をするサービスです。『持ち帰らんドリー』は地域の作業現場で働く皆

様の助けになりたい想いと共に、きらりあで働く障がいのある人たちが地域社会とつながる仕事をしていくために始めました。

クリーニング作業は協動作業です。ともに働く仲間と協力して楽しく、丁寧な作業を今日も頑張っています！

支援員 柄原美穂子



クリーニング室



きらりあ外観

## 第44回 手をつなぐスポーツの集い

スポーツ文化委員会	同職員	成人施設	児童施設	桐友学園
男子…大久保学園	女子…富里福葉苑	男子…リープ	女子…大久保学園	

午前は陸上競技場のフィールドを使い、徒競走、玉入れ、パン食い競走等を行い、2千名を超える参加者が心地よい汗を流しました。昼休みの時間は昨年から行つてはいる東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業の100mと150mの記録会が行われ、日本代表選手を夢見る選手たちが見事な走りを見せていきました。午後は走る方も応援する方も熱くなる、法人対抗リレーが行なわれました。各部門の優勝チームは次の通りです。



（本協会、千葉県等が主催）が千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で開催されました。例年11月に行なわれていましたが、昨年は記録的な寒さに見舞われたことから、今年は10月開催となりました。暑からず寒からずのまさにスポーツをするには最高の日となりました。

（水、第44回手をつなぐスポーツの集い）

（本協会、千葉県等が主催）が千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で開催されま

した。例年11月に行なわれていましたが、昨年は記録的な寒さに見舞われたことから、今年は10月開催となりました。

（水、第44回手をつなぐスポーツの集い）

# 千葉知協トピックス

スポーツ文化委員会  
成田市のおみの園

千葉健彦

千葉県2位!!

全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」



10月28日～30日、愛媛県松山市にある愛媛県総合運動公園陸上競技場をメイン会場にし、愛媛県内の9市町で第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔（えがお）つなぐえひめ大会」が開催されました。

千葉県からは総勢71名の選手を派遣し、東京都に次ぐ金

58個、全国第2位の好成績を收めました。  
知的障害関係の派遣選手では、27個（4×100メートルリレーを含む）の金メダルを獲得し、折原巧真（陸上200メートル、4×100メートルリレー）、中島朗（陸上4×100メートルリレー）、倉本翼（陸上100メートル、4×100メートルリレー）、鈴木裕貴（陸上100メートル、200メートル、4×100メートルリレー）、中島啓智（水泳50メートルバタフライ）、鈴木千絵子（水泳50メートル平泳ぎ）、の6選手が大会新を記録しました。また、千葉市選手団も総勢19名の選手を派遣し、8個の金メダルを獲得し、大活躍をしました。

朝日新聞社杯争奪第32回千葉県ゆうあいピックンフトボール選手権大会  
朝日新聞社杯争奪第32回千葉県ゆうあいピックンフトボール選手権大会

## 流山高等学園優勝（I部）

第32回千葉県ゆうあいピックンフトボール選手権大会

10月5日、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で「第24回 千葉県障害者フライングディスク大会」が開催されました。当日は、風が適度にあるコンディションでした。午後に行なわれたディスタンス競技では好記録が続出しました。

## 編集後記

くすのき苑 秋山直樹  
この1年も学ぶことの多い1年でした。何かと忙しい年の瀬ですが、笑顔で話す余裕を持ちたい。

風も味方して コンディションも上々!  
（第24回 千葉県障害者フライングディスク大会）

III部  
1位 協和厚生園  
3位 最優秀選手賞・川嶋 康平（KYOYOフェニックス）  
優秀選手賞・高梨 悠太（みらい工房）  
優秀選手賞・須田 正明（小池更生園）  
小林賞・富里福葉苑  
最優秀応援団賞・十倉厚生園

I部優勝以外の各賞は以下のとおり。  
I部  
2位 市川大野高等学校園  
最優秀選手賞・松井 広大（流山高等学校園）  
優秀選手賞・青木 武蔵（市川大野高等学校園）  
II部  
1位 とまりぎSC  
2位 KOYOフェニックス  
3位 みのり福祉会  
最優秀選手賞・橋本 博樹（とまりぎソフトボーリングクラブ）  
優秀選手賞・川嶋 康平（KYOYOフェニックス）  
最優秀選手賞・高梨 悠太（みらい工房）  
優秀選手賞・須田 正明（小池更生園）  
小林賞・富里福葉苑  
最優秀応援団賞・十倉厚生園

**団体戦の成績は以下のとおりです。**

アキュラシー団体	
（男子） 第1位	富里福葉苑／第2位 中野学園／ふる里学舎
（女子） 第1位	ひかり学園／第2位 富里福葉苑／ふる里学舎
デイスタジス団体	第3位 長生厚生園
（男子） 第1位 富里福葉苑／第2位 八日市場学園／ふる里学舎	
（女子） 第1位	八日市場学園／第2位 富里福葉苑／ふる里学舎
団体総合	第3位 しもふさ工房
（男子） 第1位 富里福葉苑／第2位 ふる里学舎／ふる里学舎	（女子） 第1位 富里福葉苑／第2位 しもふさ工房／ふる里学舎
（男子） 第3位 八日市場学園／第2位 しもふさ工房／ふる里学舎	（女子） 第3位 八日市場学園／第2位 富里福葉苑／ふる里学舎
団体男女総合	第3位 しもふさ工房／ふる里学舎
（男子） 第1位 富里福葉苑／第2位 八日市場学園／第3位 しもふさ工房／ふる里学舎	（女子） 第1位 富里福葉苑／第2位 富里福葉苑／ふる里学舎
（男子） 第3位 八日市場学園／第2位 しもふさ工房／ふる里学舎	（女子） 第3位 富里福葉苑／第2位 富里福葉苑／ふる里学舎

## 手をつなぐ作品展日程

■北部地区 イオンモール八千代緑が丘 2階アゼリア広場

平成30年4月14日（土）～15日（日）

■中部地区 ユニモちはら台

平成30年2月16日（金）～19日（月）

■南部地区 イオンモール富津 1階セントラルコート

平成30年2月22日（木）～25日（日）

## 事務局便り

事務局長 千日 清

介護、医療分野とともに行われる「報酬改定」もいよいよ大きな制度の改定時期と捉えます。「我が事・丸ごと」の思いを地域の中で広く浸透させていくことが大切です。